

樹木の病害虫に関する調査研究

予算区分：県 単	研究期間：令和元～5年度	担 当：森林科学係 小野里 光
----------	--------------	-----------------

その他病害虫（1）

I はじめに

特定外来生物であるクビアカツヤカミキリ（以下、クビアカ）における本県のサクラ等の被害は2015年に館林で発生して以降、東毛地域を中心に急拡大しており、効果的な被害対策が求められている。このため、今年度は誘引トラップによる捕殺効果について検討した。

当场樹木園は県内自生種や県指定天然記念物の後継樹など約450種約1,300本が植栽され貴重な植物園であるが、ならたけもどき病による樹勢衰退が顕在化しているため、被害調査を実施した。

II 方 法

1 クビアカ誘引トラップ試験

(1) 場所：群馬県緑化センター構内（邑楽郡邑楽町内、クビアカ被害が発生）

(2) 材料：既往報告^{1) 2)}を参考に、捕獲器はサンケイ化学の昆虫誘引器を用いて、誘引資材は①クビアカ成虫、②市販の昆虫ゼリー、③糖酢液（黒酢：白酒：穀物酢＝2：1：3）とした。誘引器A（①＋②＋③、図1）と誘引器B（①＋②）を約10m離して、それぞれ高さ約1mの位置で設置した。

(3) 方法：6月29日から10月14日にかけて、1週間から10日間隔で誘引器に捕殺されたクビアカを数えた。

2 ならたけもどき病被害調査

林業試験場樹木園において、ナラタケモドキ子実体の発生位置及びナラタケモドキが発生した樹木の樹勢等を確認した。



図-1 誘引器A

III 結果及び考察

1 クビアカ誘引トラップ試験

試験結果は表-1のとおり。誘引材として活用したクビアカは、7月下旬及び8月下旬以降は欠損が生じた。捕殺されたクビアカは、誘引器Aで8月6日に2頭、誘引器Bで8月6日及び8月14日で計3頭であった。表-2のとおり緑化センター職員のクビアカ捕獲（素手や網）結果では、7月中旬に捕獲数の明らかなピークが認められるが、今回設置した誘引トラップでは、この時期に捕殺することはできなかった。今回の結果からは、誘引材として使用した資材はクビアカの誘引には適さないと判断された。

2 ならたけもどき病被害調査

試験結果は表-3のとおり。ナラタケモドキは7月下旬及び9月中旬から10月中旬にかけて計21箇所が発生した。子実体が発生した県天然記念物の後継樹を含む樹木10本の樹勢は、葉のわい化や着葉

量の減少、枝枯れが認められた。特に樹木園 I 区のツツジ類は枝枯れが進行し樹形の乱れが顕著な状況であった。I 区における同病の被害は2003年にシラカンバ1本の枯死が認められているが³⁾、当時よりも被害範囲は拡大していることから、被害は拡大傾向にあると判断された。

表-1 クビアカツヤカミキリ誘引トラップ試験結果

日付	誘引器 A							誘引器 B						
	誘引材			捕殺				誘引材			捕殺			
	クビアカ ♂	昆虫 ゼリー	糖酢 液	クビアカ ♂	クビアカ ♀	計	甲虫	クビアカ ♂	昆虫 ゼリー	糖酢 液	クビアカ ♂	クビアカ ♀	計	甲虫
6/29	○	○	○	0	0	0	75	○	○		0	0	0	19
7/8	○	○	○	0	0	0	62	○	○		0	0	0	39
7/22		○	○	0	0	0	7		○		0	0	0	0
8/1	○	○	○	1	1	2	2	○	○		0	2	2	0
8/6	○	○	○	0	0	0	4	○	○		0	1	1	0
8/14	○	○	○	0	0	0	1		○		0	0	0	0
8/21			○	0	0	0	1				0	0	0	1
8/31			○	0	0	0	1				0	0	0	1
9/9			○	0	0	0	1				0	0	0	1
10/14			○	0	0	0	0				0	0	0	0
合計				1	1	2	153				0	3	3	60

表-2 緑化センター職員のクビアカツヤカミキリ捕獲結果

捕殺日	捕殺数
6/27	5
6/29	8
7/2	2
7/3	5
7/4	4
7/5	2
7/7	3
7/12	37
7/19	16
7/20	3
7/22	1
8/1	6
8/8	3
8/9	1
8/15	1
合計	97

表-3 ならたけもどき病被害調査結果

発生	ナラタケモドキの発生				宿主の状況		
	寄主ほか	区域	時期	葉の わい化	着葉量 少ない	枝枯れ	
樹木	シウリザクラ	A区	9/16				
	ツツジ(瑞光)	C区	9/15	○	○		
	ヒガンザクラ (県天然記念物後継樹)	C区	10/5			○	
	ハリグワ	G区	9/16				
	オオキリシマツツジ(大紫)	I区	10/5			○	
	キリシマツツジ(八重げら)	I区	10/5			○	
	オオヤマツツジ (紫重)	I区	9/28			○	
	ケラマツツジ(サキシマツツジ)	I区	10/5			○	
	トチュウ	I区	10/5			○	
	キリシマツツジ(中霧島)	I区	10/5			○	
根株	5箇所 (A区2, D区1, I区1, ツバキ園1)		7/20, 9/28, 10/5, 10/13	-	-	-	
根(地面)	6箇所 (A区4, D区1, I区1)		7/20, 10/1, 10/5, 10/13	-	-	-	

引用文献

- 1) 衣浦晴生・城塚加奈子・山本優一・所雅彦・加賀谷悦子：クビアカツヤカミキリの成虫ルアートラップによる誘引試験，樹木医学研究 第22巻2号，109-110，2018
- 2) 岩下幸平・中島寛文・石田朗・栗田悟：愛知県におけるベイトトラップを用いたクビアカツヤカミキリの捕殺事例：樹木医学研究 第22巻2号，103-104，2018
- 3) 小野里光：ならたけもどき病による樹木被害，群馬県林業試験場研究報告第11号，30-44，2006